

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	18人18色の理念をさらに深く考え、理解をする。グループホームあじさいにおける個別ケアの在り方を探求するし、実践につなげる。	・認知症介護における個別ケアの必要性、重要性を理解し、その上であじさいの理念の理解を深めていく。職員全員が入居者様一人ひとりのケアに根拠と対応を考えられる力を持てるようにさらに成長していく。	・テーマ別に体験型の研修を行い、感じることで学習する。 ・体で感じたことと、知識を結びつけた研修をする。 ・ブレインストーミングやワークショップの活用する。 ・テーマと研修内容の年間計画の作成をする。	12ヶ月
2	No.4	運営推進会議を定期的を開催することと、家族以外の方々にも出席していただき、幅広く意見をお聞きするようにし、より充実した討議を行う。	年間6回の開催 地域からの参加者を増やす 参加者と親密な意見交換を行う 運営に関する議題の提案をする	・会議開催の年間計画の作成 ・町内会、団地自治会、民生委員などへの参加、協力の呼びかけを行う。 ・地域の参加者や、家族の関心のある議題の提案をする。	12ヶ月
3	2 3	地域に出て行くことが多く、地域の方々に『グループホームあじさい』を認めて頂きつつある。今後は、双方向のお付き合いにむけて、働きかけて行く。	地域に人にあじさいに来ていただく機会を増やし、事業所内で入居者さんとの交流を行い、地域の方々に更に理解を深めて頂くようにする。	・企画、準備を早めに行い、イベント参加への呼びかけを行う。 ・グランドゴルフの講習会を開催する(町会長へ依頼)。 ・近隣の自治会や、町内会とイベントを通じて交流の機会を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。